

# 兵庫県下の経済動向

平成28年6月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

## 目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかに回復している。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、底堅く推移している。また、設備投資は全体としては増加している。住宅投資は横ばい圏内で推移している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が7か月連続して前年実績を下回った。

乗用車販売は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

家電販売は、底打ちしている。

設備投資は、製造業、非製造業ともに減少しているが、28年度増加となる見込み。

住宅投資は、持家、分譲住宅、貸家が増加したため、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額は、神戸市、独立行政法人等で著増、その他の団体で大幅増、神戸市を除く市町で微増となるも、兵庫県で大幅減、国で微減となった。

貿易は、輸出は、アジア、中国、米国向けが減少したため3か月連続して前年を下回った。輸入は、アジア、中国、米国向けが減少したため8か月連続して前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月ぶりに前年を上回った。

雇用関係では、新規求人数、有効求人倍率ともに前年を上回った。

また、常用労働者数、一人当たり名目賃金は前年を上回ったが、所定外労働時間は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を上回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

3月の兵庫DIは、先行指数42.9%、一致指数55.6%、遅行指数25.0%となった。

3月の兵庫CIは、先行指数89.1、一致指数110.3、遅行指数100.5となった。

兵庫DIは、先行指数が2か月連続で50%を下回り、一致指数は2か月連続で50%を上回り、遅行指数は6か月ぶりに50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数は2か月ぶりに前月差増、一致指数、遅行指数ともに3か月ぶりに前月差減となった。

県統計課は基調判断を「兵庫CI一致指数は、悪化を示している。」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

4月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は100.2、前月比0.5%増。出荷指数は101.5、同2.5%増。在庫指数は112.9、同3.8%減。在庫率は129.9、同0.9%増。生産指数は2か月ぶりに増加し、出荷指数は2か月連続して増加し、在庫指数は3か月ぶりに低下した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比2.0%増で2か月ぶりに増加、出荷は同1.9%増で2か月ぶりに増加、在庫は同1.8%増で3か月連続して増加した。

主要業種の生産動向を対前月比で見ると、携帯電話等の「情報通信機械工業」が5.0%、精米等の「食料品工業」が3.2%、H形鋼等の「鉄鋼業」が2.5%、反応用機器等の「はん用・生産用・業務用機械工業」が1.0%、旅客車等の「輸送機械工業」が0.4%各々上昇し、リチウムイオン蓄電池等の「電気機械工業」が3.3%、医薬品等の「化学工業」が3.6%、ガラス製容器類等の「窯業・土石製品工業」が4.9%、ガス温水給湯暖房機等の「金属製品工業」が8.5%各々下落した。

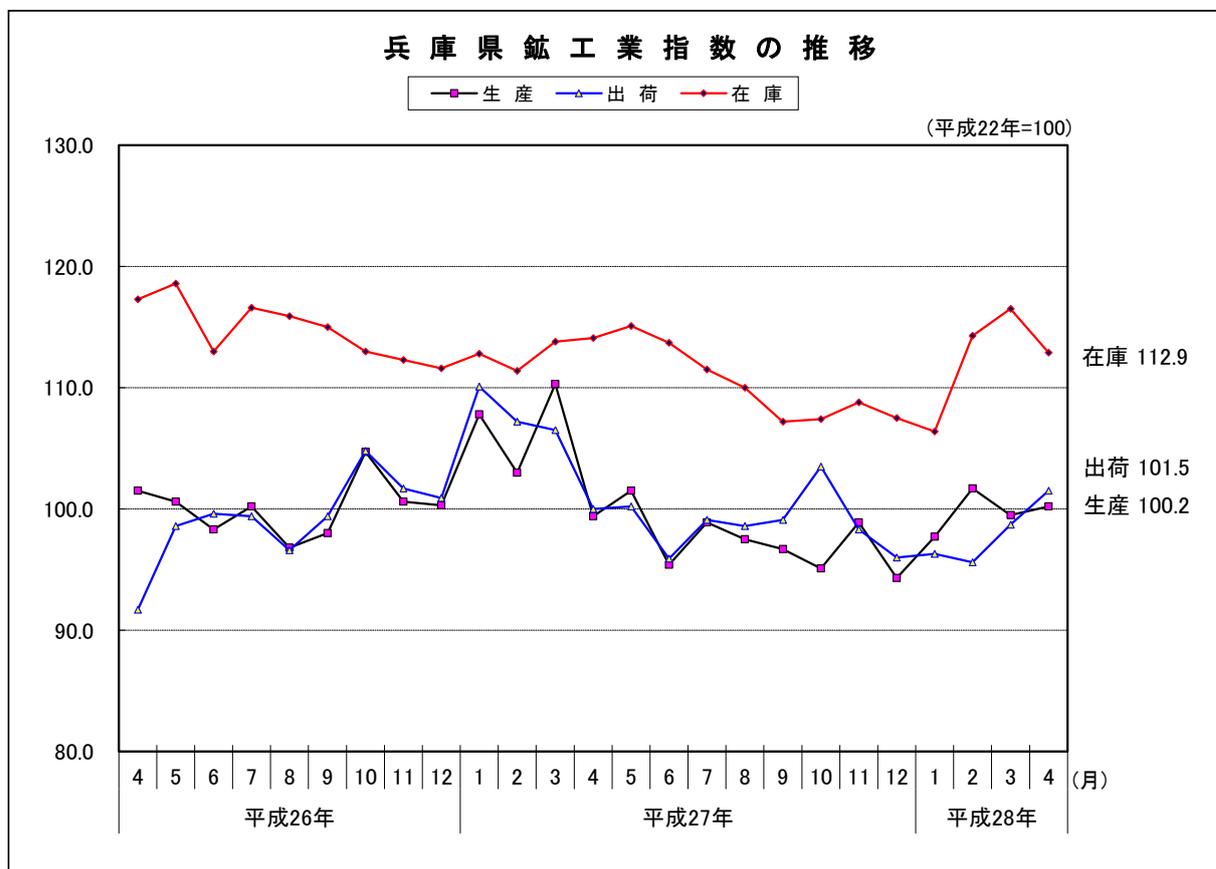
県統計課は、基調判断を「緩やかな持ち直しの動きとなっている。」とした。

### 4月の兵庫県鉱工業指数

(速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	原 指 数		
		対前月比 増減 (%)	原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	100.2	0.5	94.8	2.0
出 荷	101.5	2.5	94.7	1.9
在 庫	112.9	▲ 3.8	109.2	1.8
在 庫 率	129.9	0.9	121.1	10.8

資料：兵庫県企画県民部統計課



#### 4月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	98.7	2.5	上昇	H形鋼、亜鉛めっき鋼板、鋼半製品、粗鋼
			低下	普通鋼鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材、鍛鋼品、その他の金属めっき鋼板
金属製品 工業	79.9	▲ 8.5	上昇	ガス温風暖房機、作業工具、超硬チップ、ガス湯沸器
			低下	ガス温水給湯暖房機、ガス風呂がま、橋りょう、石油温水給湯暖房機
はん用・生産 用・業務用 機械工業	89.0	1.0	上昇	反応用機器、一般用蒸気タービン、ショベル系掘削機械、建設用クレーン
			低下	蒸気タービン部品、はん用内燃機関、混合機・かくはん機・粉砕機、ボイラ部品
電気機械 工業	121.5	▲ 3.3	上昇	一般用タービン発電機、開閉制御装置、電力変換装置、一般用エンジン発電機
			低下	リチウムイオン蓄電池、クッキングヒーター、工業用計測制御機器、アルカリ蓄電池
情報通信 機械工業	124.5	5.0	上昇	携帯電話、テレメータ・テレコントロール、レーダ装置、無線位置測定装置
			低下	カーナビゲーション、搬送装置、固定通信装置、ノート型パソコン
輸送機械 工業	127.9	0.4	上昇	旅客車、特装ボデー、二輪自動車(125ml超)、内燃機関電装品
			低下	発動機部品、機体部品、船用ディーゼル機関、特殊自動車
窯業・土石 製品工業	96.4	▲ 4.9	上昇	ほうろろ鉄器製品、タイル、空洞コンクリートブロック、道路用コンクリート製品
			低下	ガラス製容器類、セメント、耐火れんが、プレストレストコンクリート製品
化学工業	106.0	▲ 3.6	上昇	シンナー、ポリスチレン、水系合成樹脂塗料、溶剤系合成樹脂塗料
			低下	医薬品、自動車排気ガス浄化用触媒、無水酢酸、酸化亜鉛
食料品工業	95.5	3.2	上昇	精米、ビール類、しょうゆ、清酒
			低下	パン類、めん類、即席めん、配合飼料

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた5月の県内百貨店売上高は、前年同月比3.7%減の147億63百万円と7か月連続して前年実績を下回った。

紳士服を中心に衣料品全体が5.1%減り、身の回り品や家庭用品の落ち込みも目立った。一方、美術・宝石・貴金属(10.0%増)や化粧品(5.7%増)が好調で、雑貨は全体で4.8%増えた。神戸地区は3.8%減り、姫路・加古川地区も3.1%減だった。

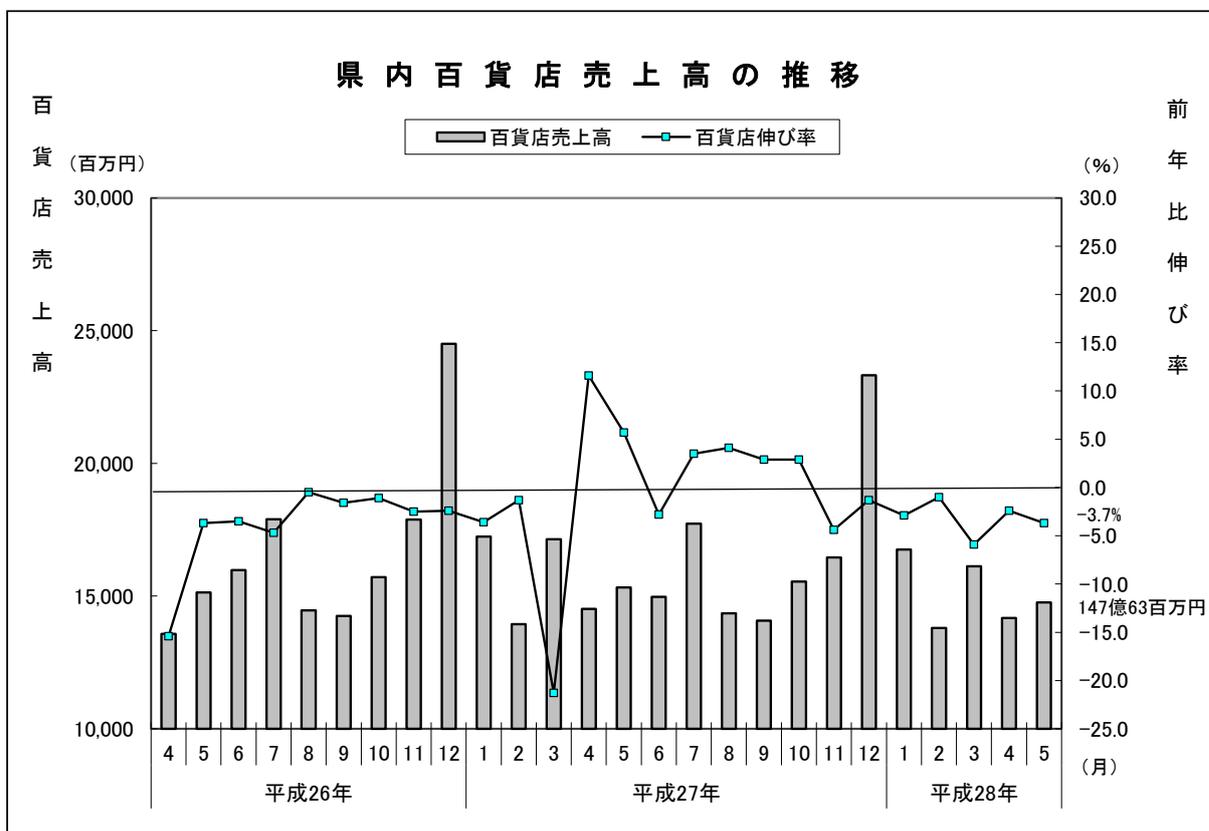
### 5月の県内百貨店売上高

品目	地 区	神 戸	姫路・加古川	合 計
紳士服・洋品		637(▲10.3)	197( 1.9)	835(▲ 7.7)
婦人服・洋品		3,793(▲ 5.1)	570(▲ 5.3)	4,364(▲ 5.1)
子供服・洋品		360(▲ 1.2)	78(▲ 6.5)	438(▲ 2.2)
身の回り品		1,128(▲12.9)	254(▲ 9.1)	1,383(▲12.2)
雑 貨		2,033( 4.6)	375( 5.9)	2,408( 4.8)
家 庭 用 品		453(▲10.1)	126(▲16.1)	579(▲11.5)
食 料 品		3,117(▲ 2.0)	729(▲ 0.4)	3,847(▲ 1.7)
そ の 他		628(▲ 0.8)	277(▲ 6.7)	906(▲ 2.7)
計		12,153(▲ 3.8)	2,609(▲ 3.1)	14,763(▲ 3.7)

※ 単位百万円、百万円未満切捨て。( )内は、前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋を含む。

※ 平成27年1月より神戸地区の集計店舗が変更。(宝塚阪急を除き、大丸神戸店やそごう神戸店など計5店舗の前年売上高を比較している。)



## 【個人消費】『新車登録』

県内5月の乗用車新車登録台数は11,207台、前年同月比1.7%減と2か月ぶりに前年同月の実績を下回った。

5月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,841台(前年同月比15.1%増)、小型乗用車は3,228台(同6.7%減)、軽乗用車は3,138台(同15.9%減)、乗用車合計で11,207台(同1.7%減)となった。

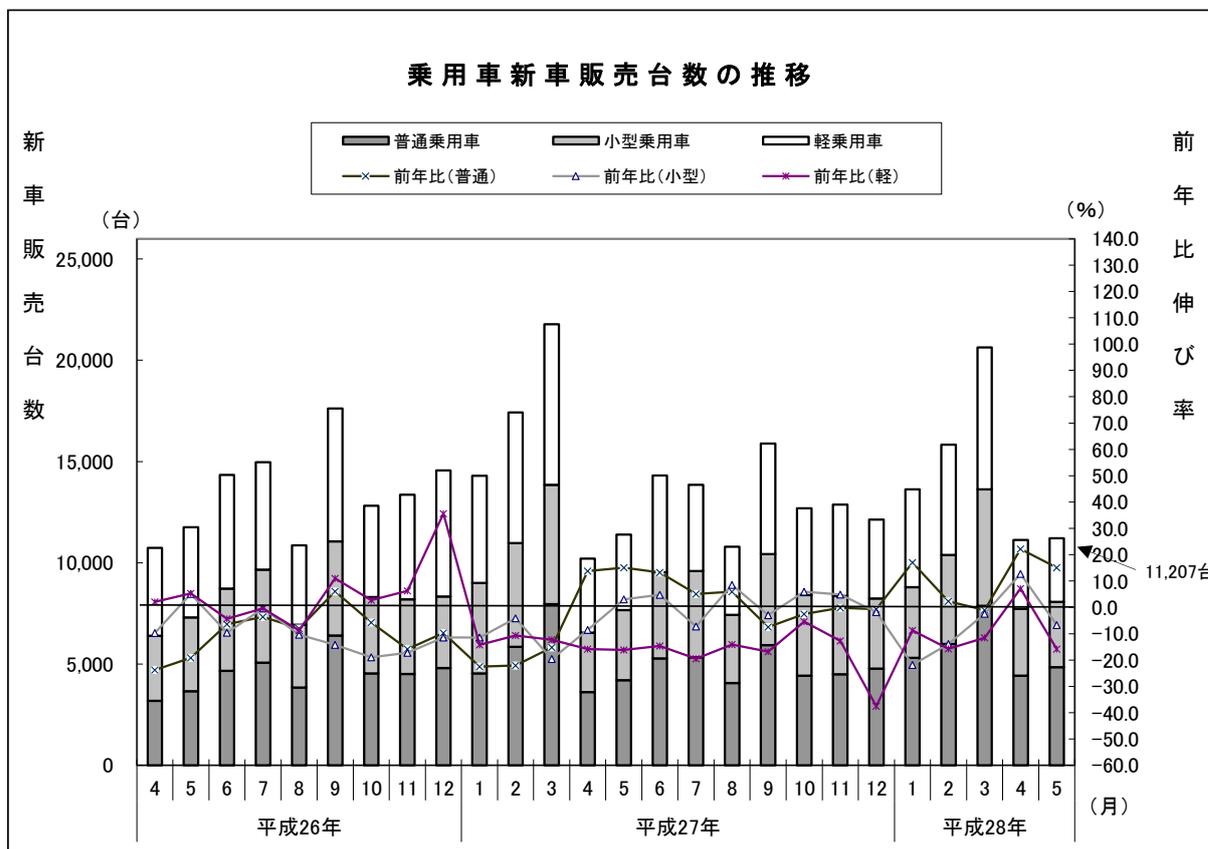
また貨物車等では、普通貨物車は336台(前年同月比24.0%増)、小型貨物車は572台(同7.7%減)、軽貨物車は1,014台(同9.4%増)、バスは28台(同86.7%増)となった。

### 5月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,841	15.1	103,432	16.7
小型乗用車	3,228	▲ 6.7	90,459	▲ 1.8
軽乗用車	3,138	▲ 15.9	81,613	▲ 17.3
<b>乗用車合計</b>	<b>11,207</b>	<b>▲ 1.7</b>	<b>275,504</b>	<b>▲ 1.4</b>
普通貨物車	336	24.0	11,128	7.8
小型貨物車	572	▲ 7.7	17,959	▲ 1.2
軽貨物車	1,014	9.4	26,220	▲ 3.2
<b>貨物車合計</b>	<b>1,922</b>	<b>5.7</b>	<b>55,307</b>	<b>▲ 0.5</b>
バス	28	86.7	775	21.1
<b>登録車総計</b>	<b>13,157</b>	<b>▲ 0.6</b>	<b>331,586</b>	<b>▲ 1.2</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が6月9日に発表した機械受注統計によると、平成28年4月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、28年3月前月比15.8%増の後、28年4月は同12.8%減の2兆2,672億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、3月前月比5.5%増の後、4月は同11.0%減の7,963億円となった。

内訳をみると、製造業が同13.3%減の3,329億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同3.9%減の4,750億円であった。

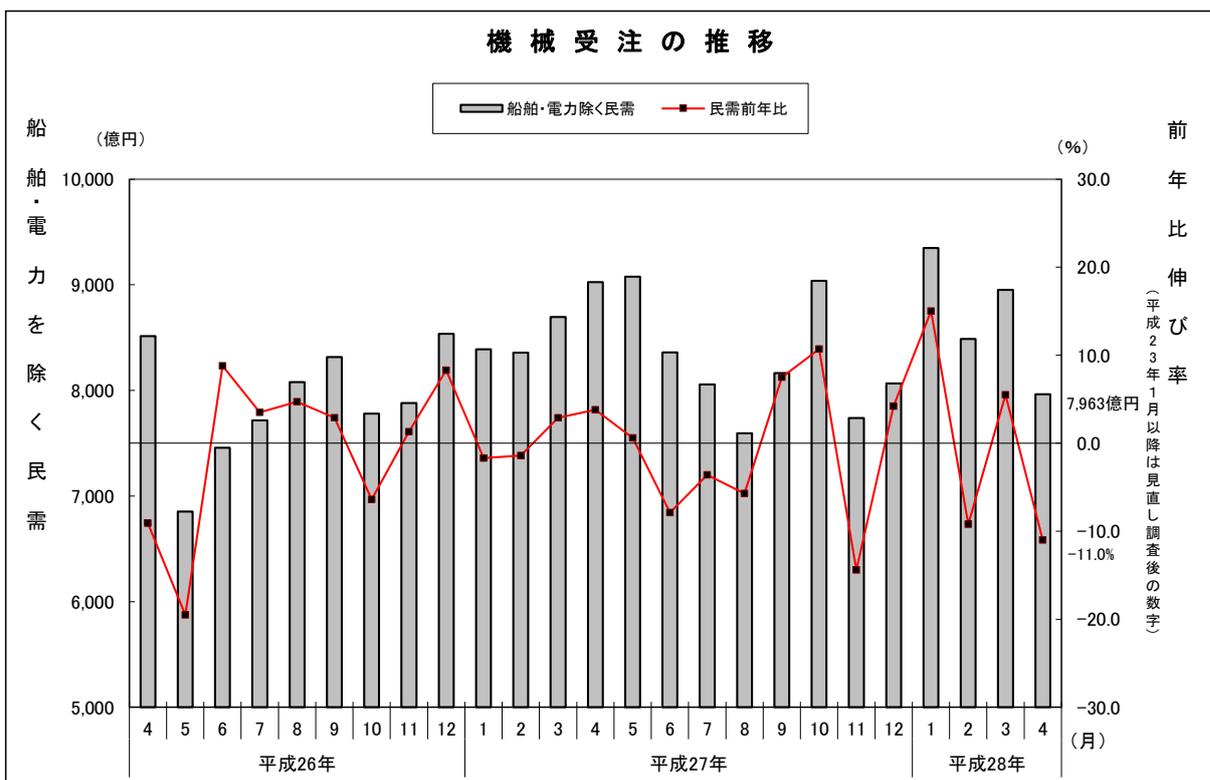
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品(109.1%増)、情報通信機械(29.4%増)、その他の輸送用機械(25.0%増)、電気機械(24.8%増)、鉄鋼業(14.5%増)、自動車・同付属品(7.1%増)、繊維工業(6.9%増)、業務用機械(3.2%増)等の8業種で、パルプ・紙・紙加工品(1.2%減)、はん用・生産用機械(6.1%減)、「その他製造業」(9.5%減)、食品製造業(10.4%減)、窯業・土石製品(17.9%減)、金属製品(33.1%減)、化学工業(39.4%減)、造船業(50.0%減)、非鉄金属(86.4%減)等の9業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、金融業・保険業(42.9%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(17.1%増)、農林漁業(7.3%増)等の3業種で、運輸業・郵便業(4.2%減)、建設業(9.5%減)、情報サービス業(16.5%減)、電力業(18.8%減)、通信業(19.2%減)、リース業(22.6%減)、不動産業(23.0%減)、卸売業・小売業(25.3%減)、「その他非製造業」(26.9%減)等の9業種は減少となった。

兵庫県下においては、2016年度設備投資額は、非製造業が減少となった一方、製造業が増加していることから、全産業でも増加計画。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2016年3月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比+5.3% (製造業+9.8%、非製造業▲10.7%)



機械受注統計 (平成28年4月分)

	27年 4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	28年 1～3月 実績	4～6月 見通し	28年 1月 実績	2月 実績	3月 実績	4月 実績
受注総額	71,791 (-1.9) [-8.0]	68,976 (-3.9) [1.9]	72,164 (4.6) [8.1]	69,021 (-4.4) [-2.5]	68,160 (-1.2) [-8.8]	20,586 (-8.8) [-15.8]	22,442 (9.0) [-8.2]	25,993 (15.8) [7.5]	22,672 (-12.8) [-7.1]
民需	30,676 (-6.3) [11.0]	28,993 (-5.5) [-2.0]	30,832 (6.3) [6.6]	34,667 (12.4) [4.5]	31,441 (-9.3) [-2.9]	11,128 (14.3) [4.2]	11,655 (4.7) [15.5]	11,884 (2.0) [-0.0]	9,478 (-20.2) [-7.9]
” (Ex 船・電)	26,149 (3.0) [12.4]	24,456 (-6.5) [-0.9]	25,098 (2.6) [2.1]	26,785 (6.7) [3.4]	25,836 (-3.5) [-6.4]	9,347 (15.0) [8.4]	8,487 (-9.2) [-0.7]	8,951 (5.5) [3.2]	7,963 (-11.0) [-8.2]
製造業	11,713 (5.8) [27.5]	10,583 (-9.6) [-1.1]	10,266 (-3.0) [-3.1]	11,677 (13.7) [4.3]	10,802 (-7.5) [-12.6]	4,625 (41.2) [25.4]	3,210 (-30.6) [-12.3]	3,842 (19.7) [2.7]	3,329 (-13.3) [-14.8]
非製造業 (Ex 船・電)	14,501 (-0.5) [2.3]	13,795 (-4.9) [-0.8]	14,565 (5.6) [6.3]	15,071 (3.5) [2.6]	14,845 (-1.5) [-2.6]	4,818 (1.0) [-4.6]	5,310 (10.2) [8.7]	4,944 (-6.9) [2.7]	4,750 (-3.9) [-3.0]
官公需	8,021 (-0.8) [-0.4]	7,383 (-8.0) [1.6]	6,563 (-11.1) [-18.4]	7,876 (20.0) [18.6]	7,908 (0.4) [-7.9]	1,899 (-23.3) [-38.0]	2,391 (25.9) [-7.0]	3,586 (49.9) [49.1]	2,307 (-35.7) [-21.0]
外需	28,214 (-5.6) [-24.0]	29,280 (3.8) [5.8]	31,946 (9.1) [17.0]	23,439 (-26.6) [-18.8]	24,232 (3.4) [-17.4]	6,834 (-29.4) [-31.2]	7,267 (6.3) [-31.2]	9,337 (28.5) [-0.4]	8,693 (-6.9) [-2.0]
代理店	3,053 (0.9) [1.5]	3,237 (6.0) [5.1]	3,349 (3.4) [7.2]	3,559 (6.3) [17.3]	3,593 (1.0) [14.8]	1,220 (11.4) [19.6]	1,198 (-1.8) [16.2]	1,140 (-4.9) [16.4]	1,096 (-3.9) [3.5]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内4月の新設住宅着工総数で3,019戸(前年同月比27.7%増)となり、持家、分譲住宅、貸家が増加したため、全体では前年を上回った。また、前月比では34戸の減少となった。

### 4月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	909	8.1	23,567	1.2
・分譲住宅	832	26.6	23,029	9.0
貸家系・貸家	1,277	47.6	35,504	16.0
・給与住宅	1	0.0	298	▲50.3
<b>総数</b>	<b>3,019</b>	<b>27.7</b>	<b>82,398</b>	<b>9.0</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

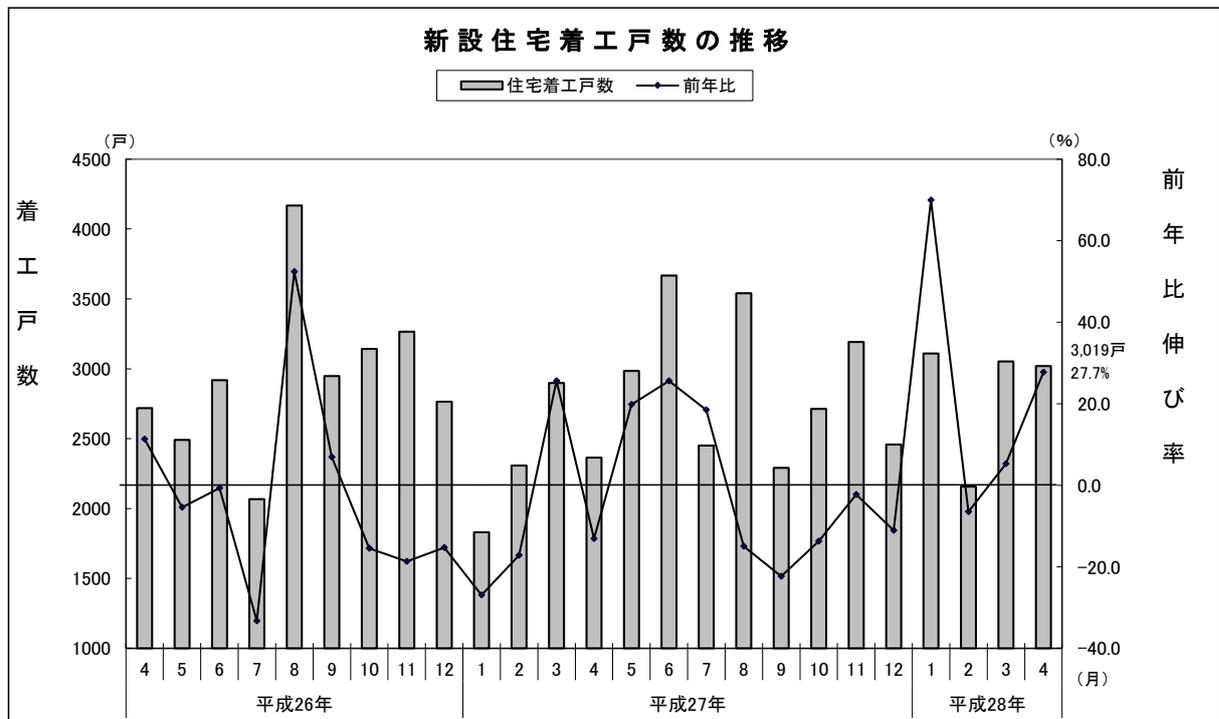
### 4月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	894	591	363	355	116	508	82	56	25	29	3,019
前月比	-1.8	-7.8	-29.9	-23.3	-5.7	123.8	54.7	27.3	-41.9	-6.5	-1.1

資料：兵庫県住宅政策課

平成28年4月の新設住宅着工累計は、総数で3,019戸、前年同月比655戸の増加となった。利用関係別では「持家」が909戸(前年同月比8.1%増)、「貸家」が1,277戸(同47.6%増)、「分譲住宅」が832戸(同26.6%増)、「給与住宅」が1戸(同0.0%)となった。



## 【公共工事】

5月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は289件で前年同月比0.3%の増加、請負金額は283億4百万円で前年同月比1.2%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市を除く市町」前年同月比2.6%の増加、「その他の団体」同49.8%の増加、「独立行政法人等」同80.8%の増加、「神戸市」同392.2%の増加となったが、「国」同1.7%の減少、「兵庫県」同46.4%の減少となったため、前年同月比1.2%の減少となった。

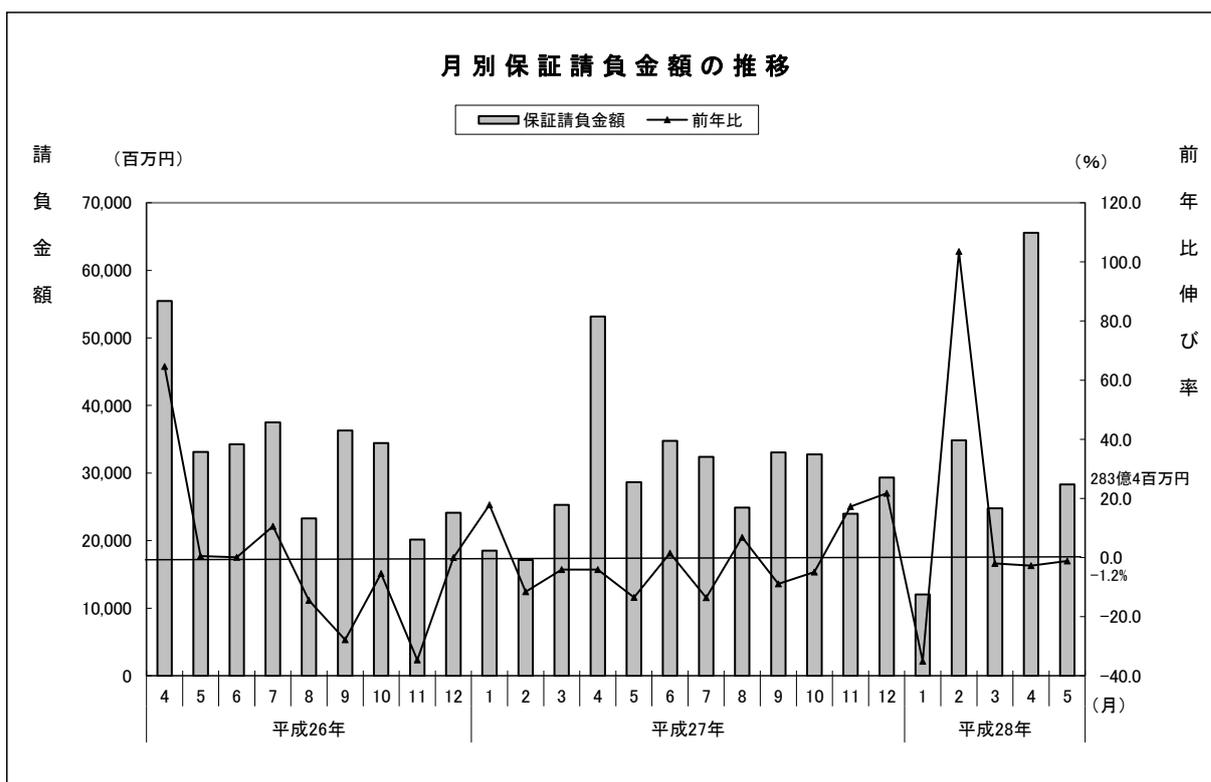
地域別(金額ベース)では、阪神北(同192.1%増)、但馬(同75.0%増)、東播磨(同49.1%増)、北播磨(同31.3%増)、阪神南(同27.8%増)、中播磨(同8.3%増)が増加したが、神戸市(同55.2%減)、淡路(前年同月比32.5%減)、西播磨(同24.8%減)、丹波(同10.3%減)が減少となったため、前年同月比1.2%の減少となった。

### 5月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	25( 56.3)	6,980(▲ 1.7)	八鹿日高道路八木川橋北側鋼上部工事 他3件
独立行政法人等	8( 0.0)	3,463( 80.8)	新名神高速道路猪名川中工事 他1件
兵庫県	107(▲12.3)	6,435(▲46.4)	地改(国)第6001-1-001号(国)178号浜坂道路対田第3・二日市トンネル工事
神戸市	21( 75.0)	3,444( 392.2)	27C6-018 西部処理場北系水処理施設築造工事(土木) 他1件
神戸市を除く市町	112(▲ 1.8)	5,195( 2.6)	
その他の団体	16( 0.0)	2,785( 49.8)	新商業高校建設工事 他3件
合計	289( 0.3)	28,304(▲ 1.2)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成 28 年 5 月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は 6,106 億円、前年同月比 12.0%の減少で、総額ベースで 8 か月連続して減少となった。輸出は、加熱用・冷却用機器などが増加したものの、有機化合物などが減少した。一方、輸入は、医薬品などが増加したものの、たばこなどが減少した。

輸出は 3,697 億円(前年同月比 15.5%減)と 3 か月連続して減少した。

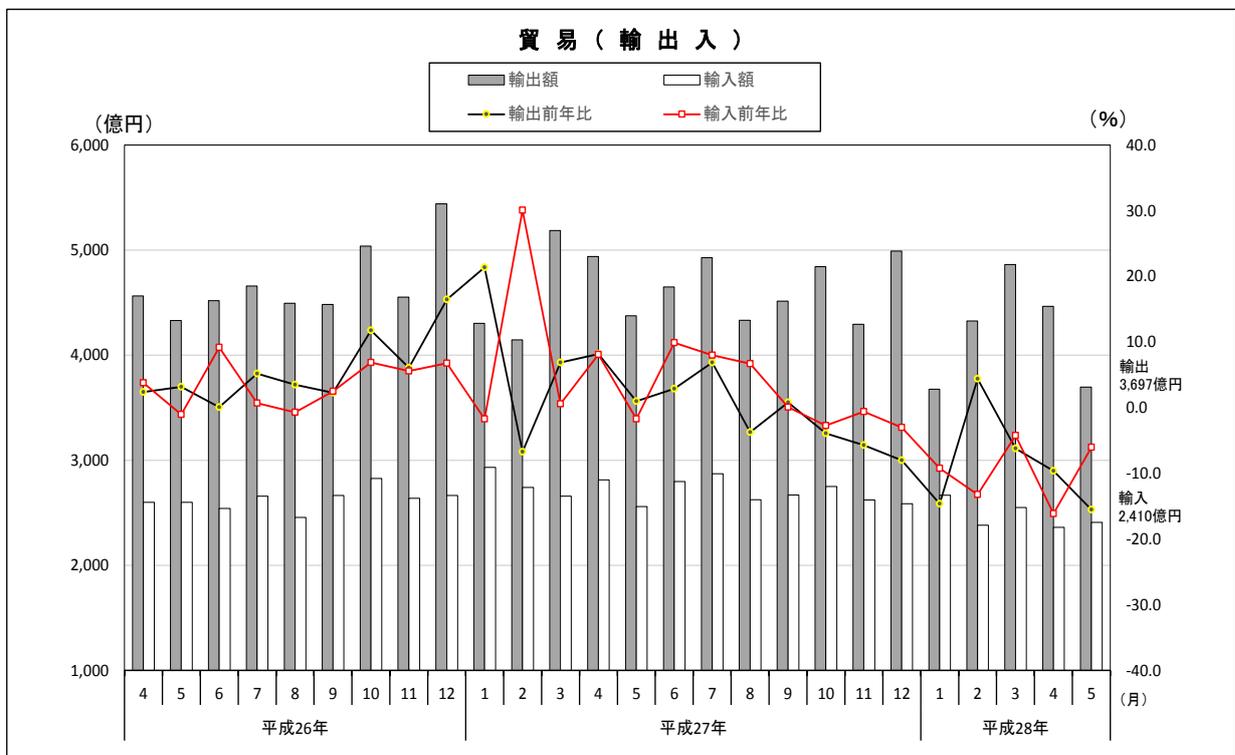
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比 10.0%減、2 か月ぶりにマイナス)、プラスチック(同 10.9%減、5 か月連続してマイナス)、織物用糸及び繊維製品(同 15.6%減、3 か月連続してマイナス)、原動機(同 24.9%減、2 か月連続してマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比 9.8%減、10 か月連続してマイナス)、中国(同 12.8%減、3 か月連続してマイナス)、アジア(中国含む)(同 16.5%減、3 か月連続してマイナス)、米国(同 16.5%減、3 か月連続してマイナス)が減少した。

輸入は 2,410 億円(前年同月比 6.0%減)と 8 か月連続して減少した。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比 2.0%増、2 か月ぶりにプラス)が増加し、有機化合物(同 7.0%減、5 か月連続してマイナス)、非鉄金属(同 26.4%減、10 か月連続してマイナス)、たばこ(同 36.0%減、10 か月連続してマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比 13.5%増、4 か月ぶりにプラス)が増加し、アジア(中国を含む)(同 7.3%減、2 か月連続してマイナス)、米国(同 13.1%減、4 か月連続してマイナス)、中国(同 14.6%減、2 か月連続してマイナス)が減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

5月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が103.6(平成22年=100)となり、前月比は0.2%の増加、前年同月比は0.2%の減少となった。生鮮食品を除く総合指数は103.2となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.1%の増加となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は102.6となり、前月比は0.1%の増加、前年同月比は0.9%の増加となった。

前月からの動きを見ると、ガス代の減少により「光熱・水道」が0.1%減少した。しかし、教養娯楽サービスなどの増加により「教養娯楽」が0.8%、野菜・海藻などの増加により「食料」が0.2%、シャツ・セーター・下着類などの増加により「被服及び履物」が0.5%、家庭用耐久財などの増加により「家具・家事用品」が0.7%、自動車等関係費の増加により「交通・通信」が0.1%、医薬品・健康保持用摂取品の増加により「保健医療」が0.2%、理美容用品などの増加により「諸雑費」が0.1%増加した結果、0.2%の増加となった。

### 5月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	103.6	104.6	101.7	111.6	104.1	108.0	100.2	99.6	103.4	101.2	110.3	103.2	102.6
前月比	0.2	0.2	0.0	▲0.1	0.7	0.5	0.2	0.1	0.0	0.8	0.1	0.0	0.1
前年同月比	▲0.2	▲0.2	0.3	▲7.5	1.0	4.2	0.4	▲1.9	0.9	2.1	1.3	0.1	0.9

(注)平成22年=100

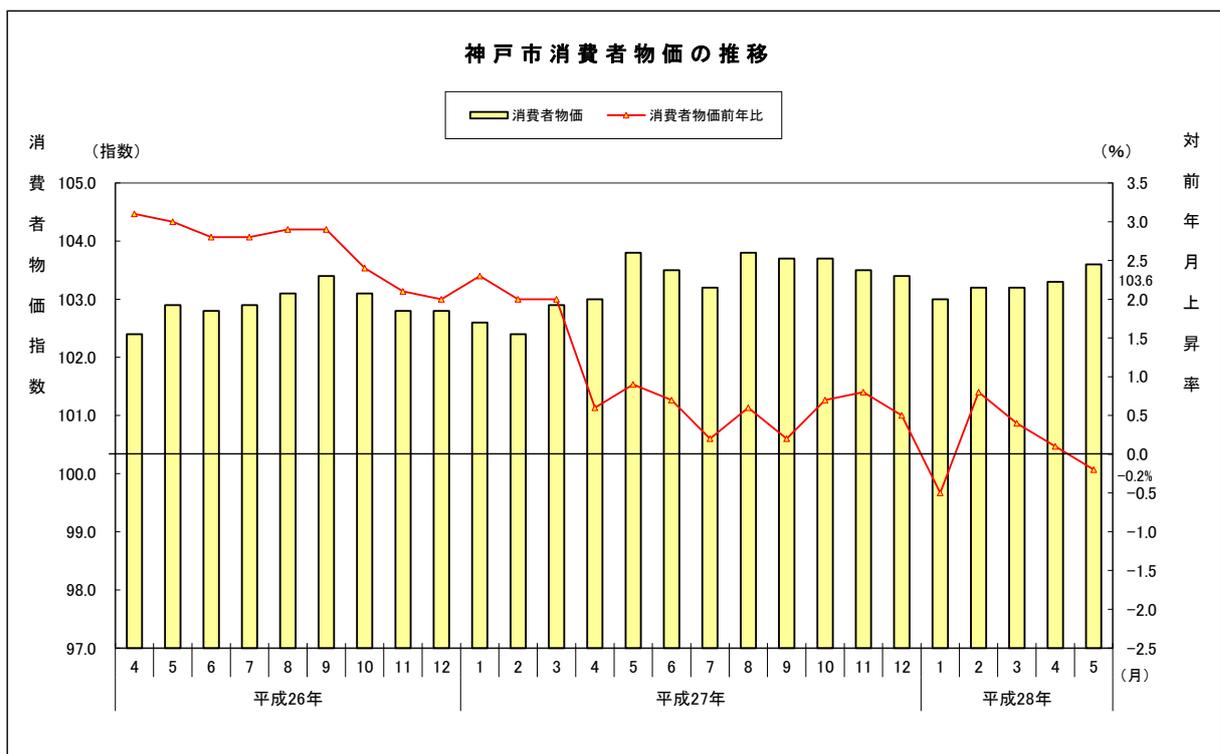
資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

教養娯楽サービス (+ 1.2%)・・・外国パック旅行、宿泊料  
野菜・海藻 (+ 2.5%)・・・じゃがいも、ねぎ

#### ○対前月比値下がりした主な品目

ガス代 (▲ 1.6%)・・・都市ガス代



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が6月10日に発表した、企業物価指数(速報)による2016年5月の企業物価指数は次のとおり。

5月の企業物価指数 (速報、2010年=100)

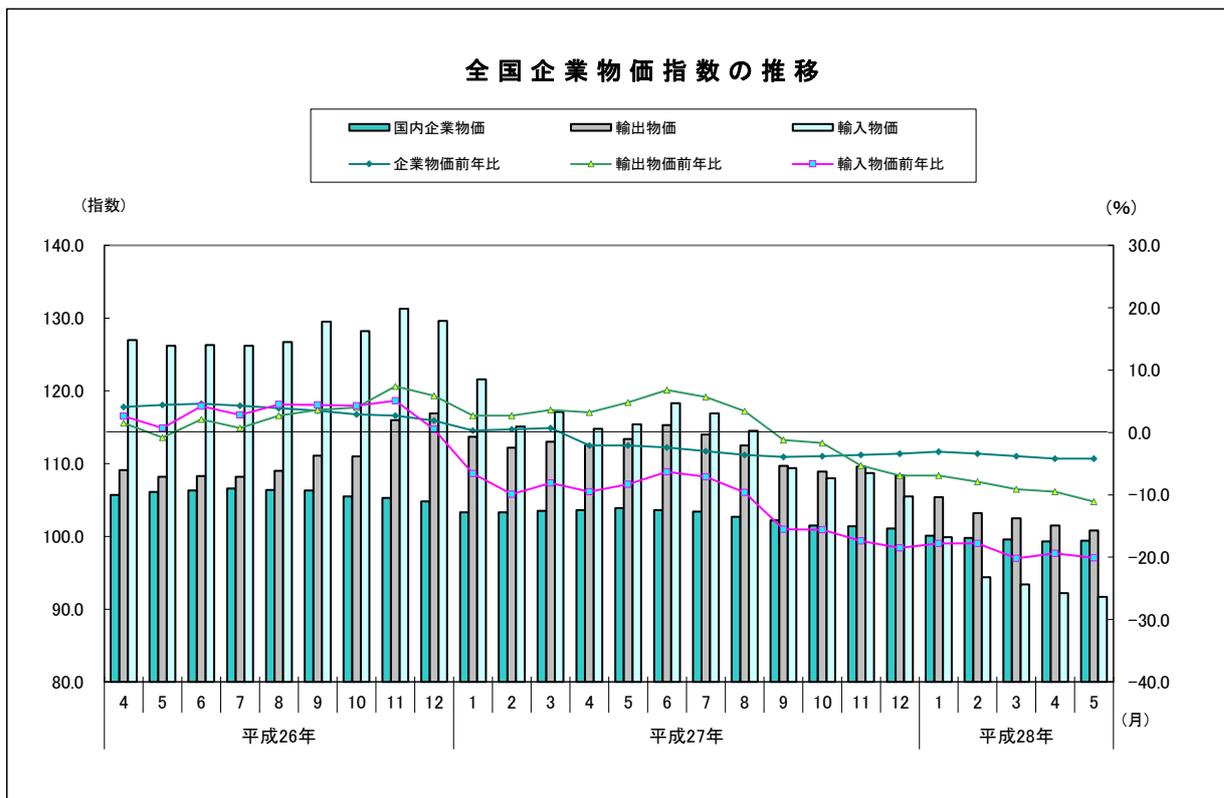
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	99.4	0.2	▲ 4.2
輸 出 物 価	100.8	▲ 0.5	▲11.1
輸 入 物 価	91.7	▲ 0.1	▲20.1

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、スクラップ類（前月比4.1%増<鉄くずなど>）、農林水産物（同2.4%増<豚肉など>）、石油・石炭製品（同1.8%増<ガソリンなど>）、電力・都市ガス・水道（同0.8%増<産業用特別高圧電力など>）等が増加したが、食料品・飲料・たばこ・飼料（同0.1%減<菓子パンなど>）、非鉄金属（同1.2%減<銅地金など>）が減少し、円ベースでは前月比0.2%の増加（前年同月比4.2%減少）となった。

輸出物価は、化学製品（前月比0.8%増<塩化ビニルモノマーなど>）、その他の産品・製品（同0.2%増<軽油など>）等が増加したが、はん用・生産用・業務用機器（同0.5%減<医療用機器など>）、輸送用機器（同0.7%減<普通乗用車など>）、金属・同製品（同1.7%減<鉄くずなど>）が減少し、円ベースでは前月比0.5%の減少（前年同月比11.1%減少）となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス（前月比1.7%増<原油など>）が増加したが、化学製品（同0.0%<酸化チタンなど>）は変わらず、食料品・飼料（同0.2%減<とうもろこしなど>）、その他産品・製品（同0.2%減<プラスチックフィルムなど>）、電気・電子機器（同0.8%減<モス型メモリ集積回路など>）、はん用・生産用・業務用機器（同1.0%減<医療用機器など>）、繊維品（同1.2%減<セーターなど>）等が減少し、円ベースでは前月比0.1%の減少（前年同月比20.1%の減少）となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内4月の新規求人数(全数)は、32,292人(前年同月比5.4%増)で、7か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は90,477人(同7.3%増)で72か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比0.3%増で2か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同10.2%増で4か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同34.5%増で7か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、製造業(前年同月比19.9%増)、運輸業、郵便業(同13.5%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同8.4%増)、宿泊業、飲食サービス業(同13.8%増)、サービス業(同7.0%増)は前年を上回ったが、建設業(同4.6%減)、卸売業、小売業(同2.1%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同6.6%減)、医療、福祉(同0.6%減)、情報通信業(同13.9%減)、教育・学習支援業(同9.1%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

4月の新規求職申込件数(全数)は24,643件(前年同月比12.9%減)で4か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、86,409人(同8.0%減)で71か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比13.4%減で22か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同12.3%減で4か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比7.0%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比13.7%減で2か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同11.7%減で4か月連続、自己都合離職者は同12.8%減で5か月連続、自営・他は同18.1%減で5か月連続、無業者は同19.5%減で52か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、17,078人(前年同月比9.3%減)で、39か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

4月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.81倍(前月比0.22ポイント増)で前月を上回り、有効求人倍率については1.12倍(前月比0.04ポイント増)で前月を上回った。

### (4) 失業者の状況

4月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.2%、完全失業者数(原数値)は224万人(前年同月比10万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.0%(前年同月比0.5ポイント増)で、完全失業者数(原数値)は42万人(前年同月比7万人増)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
28年4月	32,292	2,032	4,260	241	1,677	4,040	175	780	868	3,491	1,097	8,559	3,849
前年同月比	5.4	▲4.6	19.9	▲13.9	13.5	▲2.1	12.9	35.4	8.4	13.8	▲6.6	▲0.6	7.0

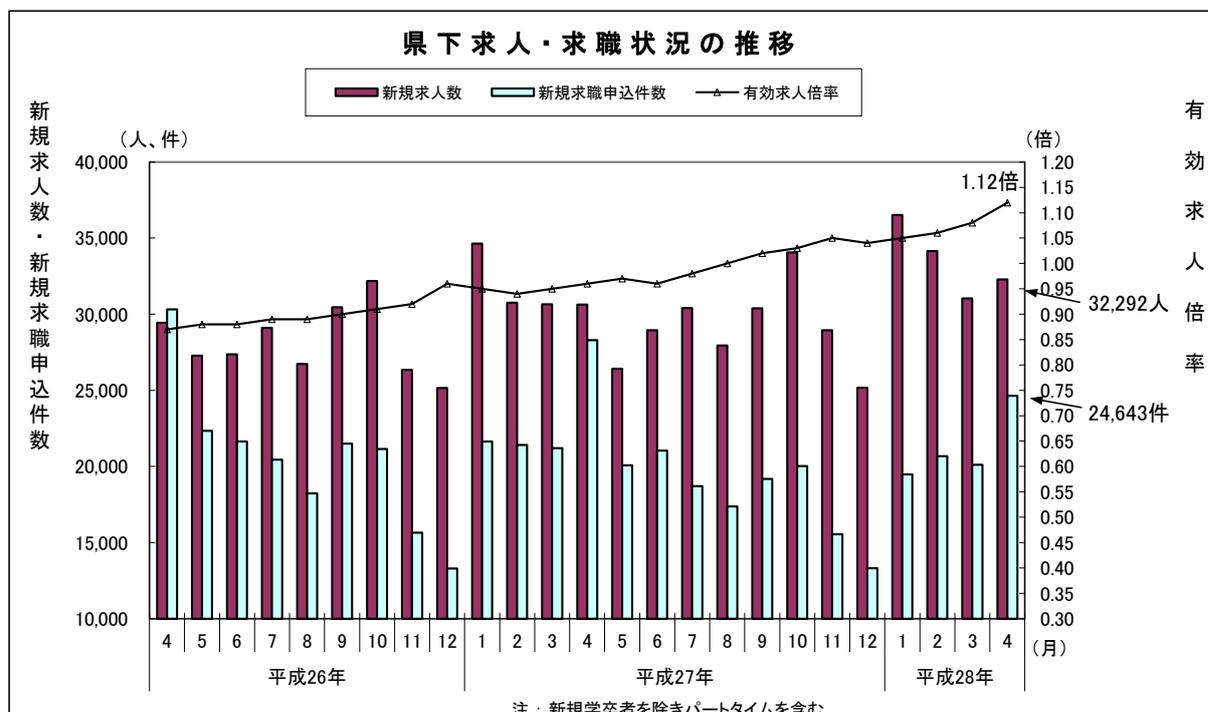
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇用・賃金の推移

項目・年月	15/4-6	15/7-9	15/10-12	16/1-3	16/2	16/3	16/4
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.96	1.00	1.03	1.06	1.06	1.08	1.12
新規求人数 (原数値、前年比%)	2.3	2.8	5.4	5.9	11.0	1.3	5.4
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	▲4.4	2.8	1.6	▲4.4	▲2.0	▲3.6	▲1.0
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.4	0.7	0.8	0.8	0.7	0.9	0.6
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	▲1.5	1.7	▲0.2	0.5	0.9	1.0	0.4

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



## 【信用保証】

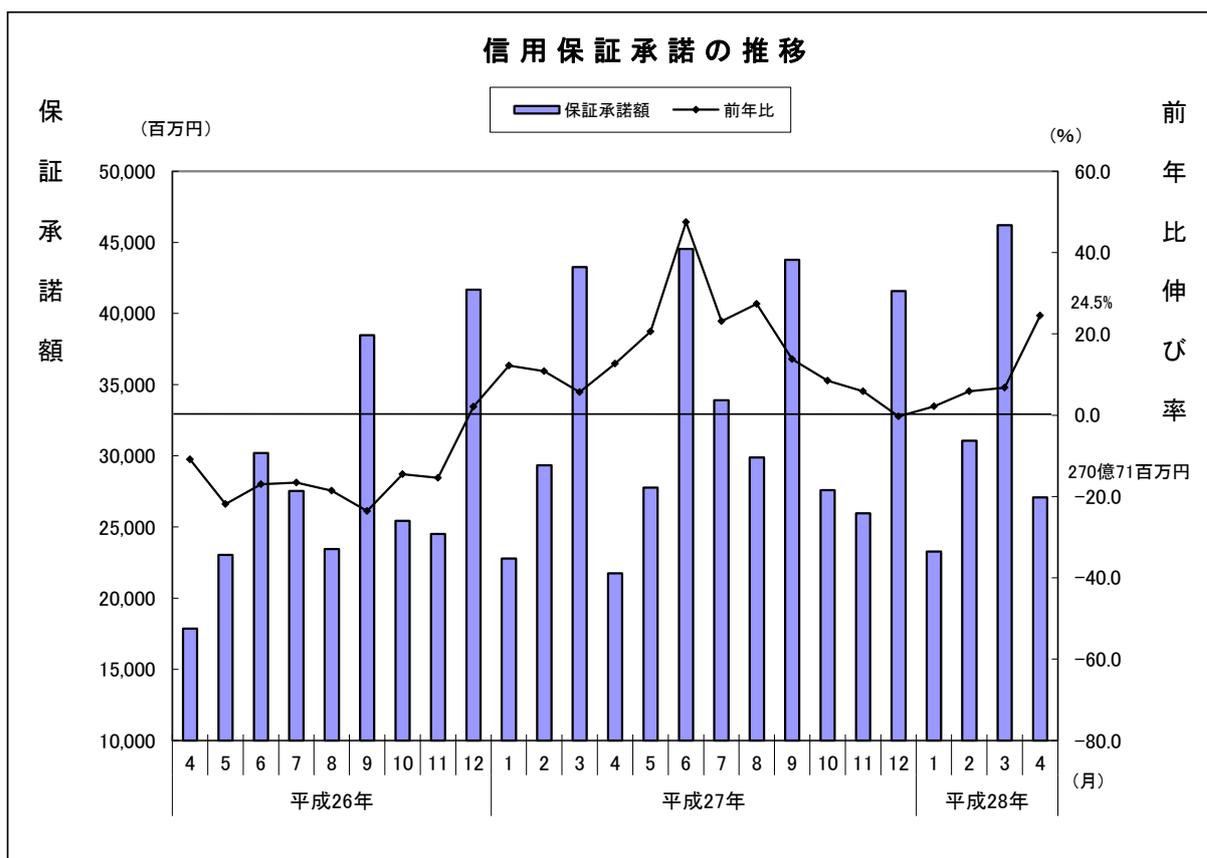
兵庫県信用保証協会による4月の保証承諾実績は、件数で1,695件(前年同月比7.6%増)、金額は270億71百万円(同24.5%増)となり、前年同月実績と比べ件数、金額ともに上回った。

資金使途別では、運転資金25,426百万円(前年同月比28.1%増)、設備資金669百万円(同16.6%減)となり、前年同月と比べ、運転資金は上回り、設備資金は下回った。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,560百万円(前年同月比53.8%増)、「サービス業」4,622百万円(同52.5%増)、「小売業」3,539百万円(同45.4%増)、「製造業」4,174百万円(同28.5%増)、「飲食店」858百万円(同26.2%増)、「卸売業」4,024百万円(同24.3%増)、「運送・倉庫業」1,444百万円(同11.4%増)、「建設業」6,641百万円(同3.7%増)で前年同月を上回った。

4月末の保証債務残高は、94,042件(前年同月比2.7%減)、1兆704億91百万円(同1.9%減)となった。

一方、同月の代位弁済は、160件(前年同月比27.0%増)、19億87百万円(同66.0%増)となった。



## 【金融】

4月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	157,574	4.1	52,907	▲ 1.9
地方銀行	27,149	2.5	24,781	4.0
第二地方銀行	33,984	0.7	22,530	2.0
信用金庫	84,419	1.4	38,769	2.3
その他	17,704	1.8	17,444	▲ 1.0
計	320,830	2.8	156,431	0.7

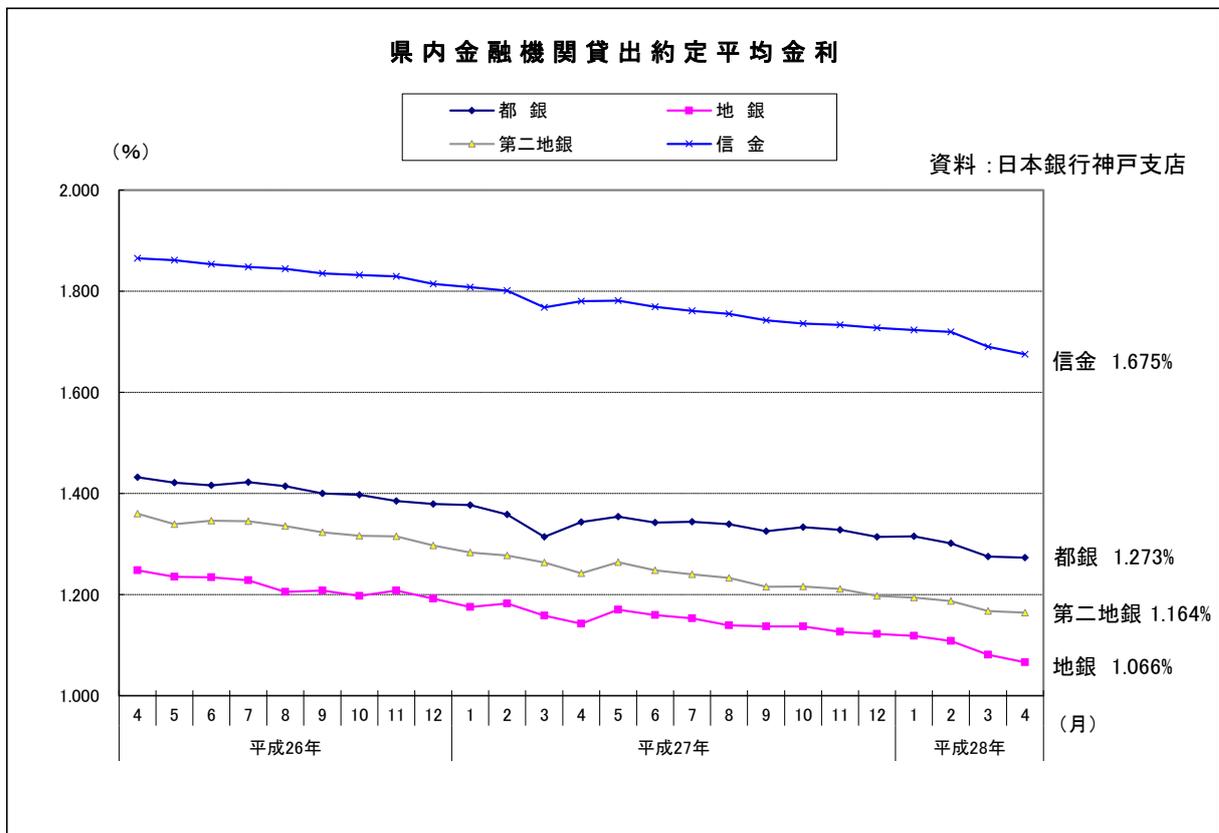
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

4月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比2.8%増)

4月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比0.7%増)

4月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(4月末水準1.360%、前月▲0.005%ポイント)。



## 【倒 産】

県内5月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は25件で前年同月比44.44%の減少、負債総額は17億12百万円で同83.84%の減少となった。

倒産件数は、前月比、前年同月比ともに20件(44.44%)の減少となり、平成8年1月の23件以来、20年4か月振りに少ない件数となった。また、負債総額は、前年同月比で88億83百万円減少し、平成2年7月の7億10百万円以来、25年10か月振りに少ない金額となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が20件(全体の80.0%)を占めた。

業種別(件数)では、「サービス業他」が8件(前年同月比3件減少)でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満までの倒産が15件発生し、全体の60.0%を占めた。

負債額5億円以上の倒産は無く、倒産件数と負債総額が低水準ではあるものの、実感する足もとの経済状況は手放しで楽観できるものとは言い難く、従来と同様に規模の小さい倒産が全体では多数を占めている。また、企業間格差の二極化が進んでいるなかにおいて、今後も倒産件数や負債総額が極めて低い水準で推移するか否かの判断は時期尚早、今しばらくは、注視して行く事が肝要である。

### 5月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	1	1	0	1	0	建設業	7	5	2	7	0
過小資本	2	2	0	4	-2	製造業	2	4	-2	4	-2
連鎖倒産	1	2	-1	3	-2	卸売業	2	8	-6	8	-6
赤字累積	1	2	-1	6	-5	小売業	1	3	-2	9	-8
販売不振	19	32	-13	31	-12	情報通信業	1	0	1	0	1
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	8	25	-17	11	-3
その他	1	6	-5	0	1	不動産・運輸業他	3	0	3	6	-3
合計	25	45	-20	45	-20	合計	25	45	-20	45	-20

資料：東京商工リサーチ神戸支店

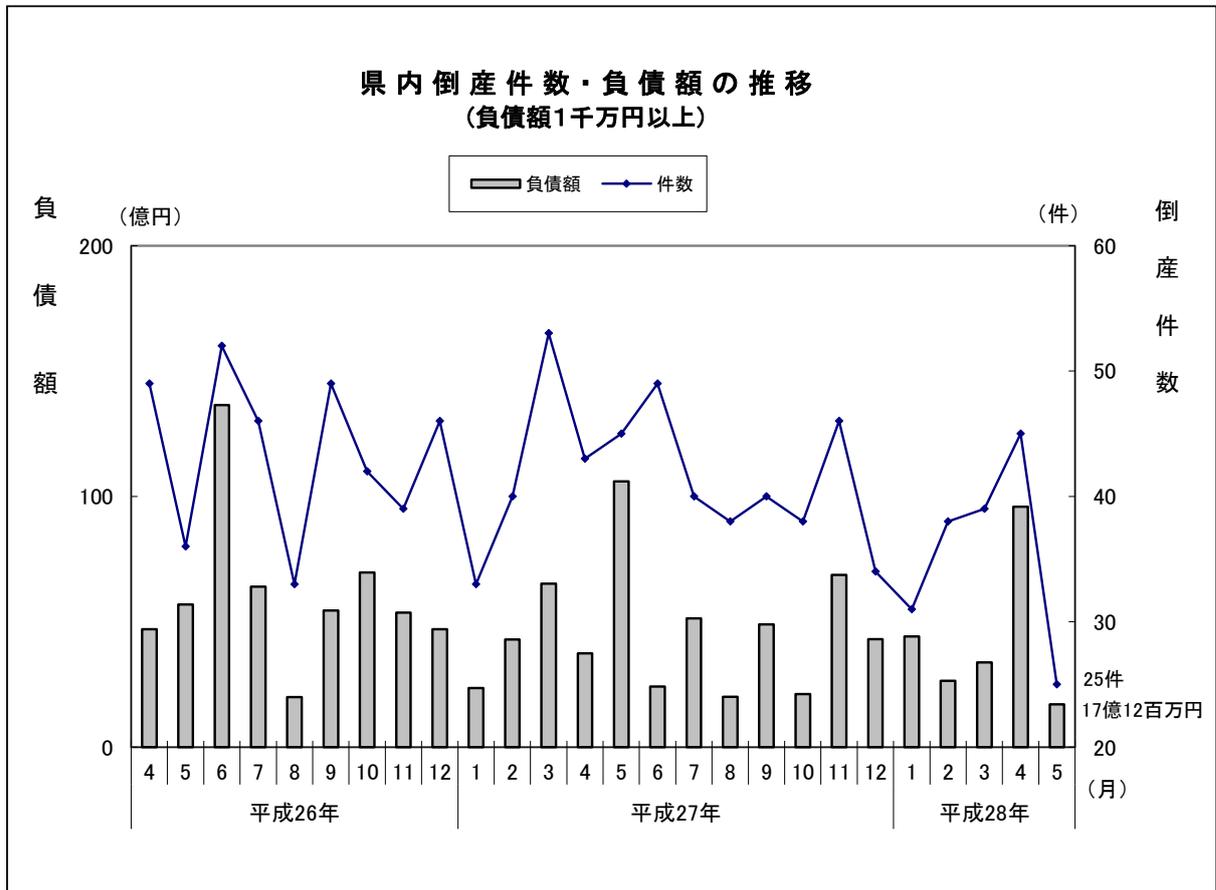
県下企業倒産件数地区別内訳

(負債総額1,000万円以上)

(単位:件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
20年 平均	62.3	20.6	19	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 平均	44.6	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 1月	33	14	10	5	3	1	0	0
27年 2月	40	12	15	7	3	0	0	3
27年 3月	53	14	23	5	7	1	0	3
27年 4月	43	15	13	8	5	0	1	1
27年 5月	45	16	11	8	7	0	0	3
27年 6月	49	21	16	6	4	1	0	1
27年 7月	40	17	7	7	10	1	0	1
27年 8月	38	18	7	7	5	1	0	0
27年 9月	40	14	12	5	5	1	2	1
27年 10月	38	15	10	7	5	0	0	1
27年 11月	46	22	9	7	1	3	1	3
27年 12月	34	13	9	7	3	2	0	0
28年 1月	31	11	9	5	5	0	0	1
28年 2月	38	14	11	5	6	0	1	1
28年 3月	39	10	17	6	4	0	1	1
28年 4月	45	17	14	7	6	1	0	0
28年 5月	25	10	8	1	3	2	0	1

資料:東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (22年=100)		全国 (22年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
27年 1月	107.8	7.6	102.4	3.7	185	17.8	0.9	1,830	-26.9	-13.0
2月	103.0	-4.5	98.9	-3.1	171	-11.6	1.0	2,308	-17.2	-3.1
3月	110.3	6.8	98.1	-0.8	253	-4.1	-0.3	2,898	13.9	0.7
4月	99.4	-10.0	99.3	1.2	531	-4.1	4.4	2,364	-13.1	0.4
5月	101.5	1.5	97.2	-2.1	286	-13.5	-3.4	2,985	19.8	5.8
6月	95.4	-5.9	98.3	1.1	347	1.5	-2.9	3,667	25.6	16.3
7月	98.9	2.5	97.5	-0.8	324	-13.6	-4.7	2,450	18.5	7.4
8月	97.5	-2.2	96.3	-1.2	248	6.8	-4.2	3,540	-15.0	8.8
9月	96.7	-1.6	97.4	1.1	330	-8.9	-5.3	2,292	-22.3	2.6
10月	95.1	-2.0	98.8	1.4	327	-4.9	-5.2	2,713	-13.7	-2.5
11月	98.9	4.0	97.9	-0.9	239	17.2	-4.6	3,191	-2.3	1.7
12月	94.3	-5.3	96.2	-1.7	293	21.7	-4.9	2,458	-11.1	-1.3
28年 1月	97.7	3.6	99.8	3.7	120	-35.1	-4.8	3,110	6.9	0.2
2月	101.7	3.6	93.2	-5.2	348	103.5	-4.7	2,158	-30.6	7.8
3月	99.5	-2.1	96.7	3.8	247	-2.0	-2.1	3,053	41.5	8.4
4月	100.2	0.5	97.2	0.5	655	23.3	10.6	3,019	-1.1	9.0
5月					283	-1.2	1.4			
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
29年 1月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
27年 1月	14,292	-16.2	-20.7	172	-3.6	-0.4	4,304	21.4	2,934	-1.7
2月	17,426	-13.2	-15.8	139	-1.3	-17.7	4,145	-6.7	2,744	30.1
3月	21,773	-15.4	-11.9	171	-21.3	-17.7	5,185	6.9	2,658	0.6
4月	10,209	-4.9	-10.1	145	11.6	13.7	4,939	8.2	2,816	8.1
5月	11,397	-0.6	-8.2	153	5.7	6.3	4,376	1.0	2,560	-1.7
6月	14,318	-0.1	-3.8	149	-2.8	0.4	4,652	2.9	2,799	9.9
7月	13,853	-7.4	-9.1	177	3.5	0.4	4,928	6.9	2,873	8.0
8月	10,798	-0.5	-3.5	143	4.1	2.7	4,332	-3.7	2,627	6.8
9月	15,892	-9.8	-7.4	140	2.9	1.9	4,517	0.9	2,672	0.2
10月	12,686	-1.1	-4.0	155	2.9	4.2	4,843	-3.9	2,752	-2.7
11月	12,871	-3.6	-7.6	164	-4.4	-2.6	4,295	-5.7	2,625	-0.5
12月	12,131	-16.7	-14.6	233	-1.3	0.3	4,991	-8.0	2,586	-3.0
28年 1月	13,623	-4.7	-4.4	167	-2.9	-1.5	3,677	-14.6	2,688	-9.2
2月	15,837	-9.1	-7.5	138	-1.0	0.5	4,326	4.4	2,383	-13.2
3月	20,638	-5.2	-9.3	161	-5.9	-2.8	4,863	-6.2	2,551	-4.2
4月	11,125	9.0	2.2	141	-2.4	-3.6	4,466	-9.6	2,362	-16.1
5月	11,207	-1.7	-1.4	147	-3.7		3,697	-15.5	2,410	-6.0
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
29年 1月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
27年 1月	0.95	1.14	1,032	-0.2	96.8	-0.1	102.3	2.3	103.3	2.4
2月	0.94	1.15	1,040	0.0	96.0	-0.9	102.4	-0.1	103.1	2.4
3月	0.95	1.15	1,032	-0.7	96.9	0.4	102.9	2.0	103.3	2.3
4月	0.96	1.17	1,053	0.4	98.4	0.0	103.2	0.6	103.7	0.6
5月	0.97	1.19	1,055	0.5	96.4	-1.3	103.8	0.9	104.0	0.5
6月	0.96	1.19	1,045	0.5	97.6	-0.5	103.5	0.7	103.8	0.4
7月	0.98	1.21	1,055	0.6	97.4	0.3	103.2	0.2	103.7	0.2
8月	1.00	1.23	1,052	0.4	97.5	-0.1	103.8	0.6	103.9	0.2
9月	1.02	1.24	1,052	0.7	97.7	1.3	103.7	0.2	103.9	0.0
10月	1.03	1.24	1,024	0.9	97.6	0.3	103.8	0.7	103.9	0.3
11月	1.05	1.25	1,057	0.8	97.9	0.8	103.5	-0.3	103.5	0.3
12月	1.06	1.27	1,057	1.1	97.9	0.7	103.4	-0.1	103.0	0.0
28年 1月	1.05	1.28	1,052	1.0	97.2	0.4	103.0	-0.5	103.2	0.3
2月	1.06	1.28	1,048	0.8	97.8	1.9	103.2	0.8	103.2	0.3
3月	1.08	1.30	1,042	1.0	99.4	2.6	103.2	0.4	103.3	-0.1
4月	1.12	1.34	1,059	0.5	99.4	1.0	103.3	0.1	103.4	-0.3
5月							103.6	-0.2		
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
29年 1月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課			兵庫県統計課		総務省		

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額			倒産 件数	負債 総額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)			神戸 (件)	阪神 (件)	播磨他 (件)
27年 1月	103.3	0.3	154,351	1.3	1.179	33	33	14	10	9
2月	103.3	0.5	154,880	1.7	1.173	40	42	12	15	13
3月	103.5	0.7	158,666	2.1	1.158	53	65	14	23	16
4月	103.6	-2.1	155,375	2.0	1.157	43	37	15	13	15
5月	103.9	-2.1	154,428	0.7	1.153	45	105	16	11	18
6月	103.6	-2.4	154,717	1.3	1.141	49	24	21	16	12
7月	103.4	-3.0	154,763	1.5	1.137	40	51	17	7	16
8月	102.7	-3.6	154,623	1.1	1.135	38	20	18	7	13
9月	102.2	-3.9	156,038	1.5	1.125	40	48	14	12	14
10月	101.5	-3.8	155,425	1.5	1.125	38	21	15	10	13
11月	101.4	-3.6	155,242	1.2	1.121	46	68	22	9	15
12月	101.1	-3.4	156,968	1.3	1.110	34	43	13	9	21
28年 1月	100.1	-3.1	156,038	1.1	1.108	31	44	11	9	11
2月	99.8	-3.4	155,727	0.5	1.098	38	26	14	11	13
3月	99.6	-3.8	161,190	1.6	1.076	39	33	10	17	12
4月	99.3	-4.2	156,431	0.7	1.066	45	95	17	14	14
5月	99.4	-4.2				25	17	10	8	7
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
29年 1月										
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

\* p は速報値 r は確報値